社協だより

第196号
2022.12. 1
点字・拡大・音訳版あります

【編集・発行】社会福祉法人 直方市社会福祉協議会　〒822-0026 福岡県直方市津田町７番35号
TEL 0949 (23) 2551　FAX 0949 (23) 2552
e-mail : nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp　HP : http://www.nogatashakyo.org/

夢 ～みんなちがって　みんないい～

令和４年11月27日(日)に直方市中央隣保館で行われた人権文化祭のポスター(３種類)

もくじ

●福祉まつりのお礼と報告…… 2
●地域の輪(直方市石炭記念館)
情報の広場(福岡県共同募金会会長表彰・
福岡県社会福祉協議会会長表彰)
図書室(おいしいごはんが食べられますように) … 3
●お知らせ(登録ヘルパー募集・おもちゃ図書館のおがた・運転協力員募集・生活必需品など寄贈・福祉もちつき会案内・令和４年度地域福祉セミナー)
ご寄附…… 4

kantera

カンテラ

『夢』

コロナ禍を経て、26回目の直方一中校区人権文化祭が11月27日に行われました。今年のテーマは『夢』。校区の中学校美術部がポスターを描きます。

子どもから高齢の人まで、それぞれがいろんな夢を持ち抱いていると思います。私の身近なハンディのある人は、カラオケがしたい・旅行に行きたい・ゴルフをしてみたい・寿司を食べたい・買い物やぶらりと街を歩きたい・一人暮らしがしたいなど。多くの人には小さな事かもしれません。

『夢』を持つ事は、誰もが自由な考えや行動ができる社会だと思います。この事は、一人ひとりが認められ、ゆったりと地域で普通に暮していける事。このような社会になることが私の『夢』です。

12月4日から人権週間が始まります。

（田中）

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で作成しております。

第44回福祉まつりを開催しました！

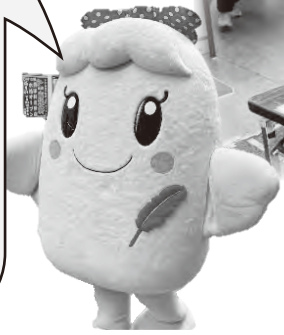
お天気に恵まれた秋晴れの中、３年振りの福祉まつりを「誰一人ほっとかない、誰もがほっとできるまちへ」をテーマに10月22日(土)に初めて商店街にて開催をいたしました。

障害のある人もない人も、子どもから高齢者まで、誰もが区別されることなく社会生活を共にすることが正常な社会であるという「ノーマライゼーション」の理念を大切にし、たくさんの市民の皆さんにご参加いただくことができました。

当日は、様々なステージプログラムや出店にて楽しい空間を創ることができ、初めて商店街に来た子どもや昔をなつかしむ高齢者、久しぶりに車いすで商店街に足を運ばれた方等、多くの来場者で賑わう一日となりました。

市内の福祉施設による笑顔のフラッグ☺

当日の様子♪



福祉まつりは、赤い羽根共同募金や歳末たすけあい募金にて開催をしています。今年度も皆さまからご支援をいただいた寄付にて開催をすることができました。

また、直方市内の企業やお店等からご協力いただいた協賛品が当たるガラポンくじのコーナーでは、赤い羽根共同募金のことを知っていただき、多くの皆さまからたくさんのご支援をいただくことができました。

ご参加いただきました皆さま、ありがとうございました！

この社協だよりは、点字版･拡大版･音訳版もあります。ご希望の方はご連絡ください。

地域の輪

地域に根ざした独自の活動を紹介します。

筑豊の語源をご存じですか？
直方市石炭記念館

皆さんご存知の「直方市石炭記念館」を取材で訪れました。

迫力満点のＳＬと坑夫の像が出迎えてくれました。館長さんの第一声が表題の言葉でした。直方市石炭記念館は近代日本の産業発展に欠かせなかった筑豊炭田の「炭鉱の歴史」を後世に伝えるために昭和46年に誕生しました。

本館の建物は筑豊石炭鉱業組合直方会議所として明治43年に建てられたものです。当初は筑前国（遠賀郡、鞍手郡、嘉麻郡、穂波郡）豊前国（田川郡）石炭坑業組合の名称で使われていました。当時の炭鉱経営者によって誕生したのが筑前国と豊前国を合わせた「筑豊」という言葉でした。何気なく使っていた筑豊という言葉もこの組合から誕生していたんですね。

石炭記念館は２０１８年文化財保護法に基づいて国指定史跡群「筑豊石炭鉱業組合直方会議所及び救護訓練所模擬坑道」が指定されました。直方市石炭記念館が、いかに近代日本の発展に大きな役わりを果たしていたかの表れだと思いました。

展示物を見ていても伝わってくる筑豊炭田の凄さですが、出来れば館長さんの説明を受けられることをお勧めします。素晴らしさと楽しさをダブルで味わえます。

（石黒）

「炭鉱の歴史」を色濃く残す
直方市石炭記念館

情報の広場

福岡県共同募金会会長表彰並びに福岡県社会福祉協議会会長表彰（社会福祉事業特別功労者）

令和４年10月26日に開催された令和４年度福岡県社会福祉大会において、長年に渡る活動の功績を称え、福岡県共同募金会から上村清さん、福岡県社会福祉協議会から田中壽子さんの２名が会長表彰を受けられました。

赤い羽根共同募金運動に15年以上の活動年数があり、赤い羽根共同募金運動に尽力された人に贈られるこの表彰において、上村さんは平成18年より共同募金会直方市支会の理事を務められており、地域においても西校区自治区公民館長として、赤い羽根共同募金運動に多大な功績を残されてきました。

また、田中さんは、平成17年より直方市社会福祉協議会理事を務められています。直方市ボランティア連絡協議会・障がい者問題を考える直方市連絡会議の代表としても地域福祉活動の推進にご活躍されており、永年にわたり社会福祉の増進に努めその業績が顕著な人に贈られる福岡県社会福祉協議会会長表彰（社会福祉事業特別功労者）を受けられました。

田中さんは「皆さんのお力添えにより、活動を継続することができました。これからも、地域福祉の推進に向けて頑張っていきます」と話しました。

図書室

「おいしいごはんが食べられますように」

第167回芥川賞受賞作品

作者　高瀬　隼子
発行　文芸春秋社
直方市立図書館　所蔵

芦川は、体力のなさや片頭痛を理由にすぐ仕事を断る。芦川の一つ年下の押尾は、彼女のそんな性格が気に入らず同僚の男性社員・二谷に愚痴をこぼす。そして言う「わたしと一緒に芦川さんにいじわるしませんか」と。

一方の二谷は、芦川のか弱い一面が好きになり、ひっそりと付き合いだす。二谷は芦川からおいしい料理をふるまってもらうが、実は食事自体には興味がなかった。それどころか「おいしい」と言いながら食事を共にすることに疲れすら感じていた。

そんな折、会社内で起きた事件により事態は思わぬ方向へ転がり始める。

ホッコリしたタイトルに騙されないように・・・。読後にゾク～と、不気味な小説です。

（広田）

登録ヘルパー募集中！詳細は裏面をご確認の上、お気軽にご連絡ください。

「福祉なんでも相談」受付中！お困りのことがあったらお気軽にご相談ください。

「登録ヘルパー」募集します

ご利用者の地域生活を、一番近くで支えるとても素敵なお仕事です。

■資　　格　介護職員初任者研修課程修了者（ホームヘルパー２級以上可）
■活動時間　７時から21時の間（時間は相談の上）
■賃　　金　（時給）900円～1,860円

「おもちゃ図書館のおがた」からのお知らせ

おもちゃ図書館のおがたは、毎週土曜日の11時～12時と13時～14時におもちゃの貸し出しを行っています。

12月３日・10日・17日・24日は遊びに来てくれたお子さんに、素敵なクリスマスプレゼントをお渡しします。ぜひお越しください♪

移動送迎支援事業「運転協力員」募集します

移動送迎支援事業とは、公共交通機関を利用することが困難な在宅の障害者や高齢者等に移動送迎の支援を行い、社会参加の促進と自立支援を行うものです。

■資　　格　普通自動車免許（AT限定可）
※移送サービス講習を受講して頂きます。
■活動時間　8時30分～17時の間の予約に応じて
■賃　　金　（時給）900円

車いすなどの貸し出しをしています。詳しくはお問い合わせ下さい。

生活必需品などの寄贈

社会福祉法人豊徳会様より、食料品（米、水、缶詰）などの生活必需品を寄贈していただきました。生活困窮者への食の支援などに大切に使わせていただきます。

ありがとうございました。

「福祉もちつき会」を開催します

誰でも参加できる「福祉もちつき会」を開催します。小さいお子様のもちつき体験もできますので、皆様のご参加をお待ちしています。

■と　き　令和４年12月17日(土)９時～13時
■ところ　直方市殿町商店街
■参加費　無料

令和４年度　地域福祉セミナー「ひとりではないと気づいて・・」

認定特定非営利活動法人スチューデント・サポート・フェイスの代表理事である谷口仁史氏の講演でひきこもりについての知識を学んだ後に交流会を開催します。

みなさんの思いの共有の場としていただきたいと思います。ぜひ、ご参加ください。

■と　き　令和５年１月21日（土）13時～16時30分
■ところ　直方市中央公民館　第３学習室
■共　催　学校に行かない子どもを支える会
■参加費　100円
■申込み　TEL・FAX・メールなど

ご寄附ありがとうございます。

令和４年８月11日～令和４年11月10日
８件　合計金額　123，633円
（お名前は承諾された方のみ掲載、敬称略）

香典返し寄附金
● 上頓野（故）末松　武彦

一般寄附金
● 染めものや蠟会
● 匿名　２件

未使用はがきと切手
● 匿名　２件

食料品等寄贈
● 社会福祉法人　豊徳会

● 匿名　１件

編集後記

３年ぶりに第44回福祉まつりが、10月22日(土)に直方市商店街で開催されました。商店街の約50箇所に、ステージやグルメ・バザーの出店などが点在して、車いすや高齢者疑似体験もあり、子どもを含め幅広い世代の人々が体験をしていました。

普段とは違う視点から、実際に身体を使って感じ取られた今回の体験を通して、相手の立場になって考えるような何か気づきのきっかけになってもらえればと思います。（藤田）